

平成25年度第4回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成25年12月4日（水）

（夜の部）午後6時30分～午後8時35分

区役所 8階第一会議室

- 1 広報課長あいさつ
- 2 防災課長、危機管理課長あいさつ
- 3 事業説明
- 4 事例検討
 - （1）防災対策について
 - ①災害時の避難所となる防災拠点運営委員会活動について
 - ②高層住宅防災対策について
 - （2）防犯対策について（安全・安心への取組について）

事例検討1「防災対策について」

（1）災害時の避難所となる防災拠点運営委員会活動について

中央区内には災害時の避難所となる小・中学校など23の防災拠点と防災拠点を運営する21の防災拠点運営委員会があります。防災拠点運営委員会のメンバーは、町会・自治会などからなる153の防災区民組織の代表者が地域ごとに集まって構成しています。これらの組織は、平常時は防災訓練の実施や防災資器材の整備、災害時要援護者の把握などを行い災害時に備えています。また、震災時の活動マニュアルの整備を行っており、今年度からは女性の視点に配慮した避難所運営について検討するため、新たに女性役員として積極的に参加いただいております。区のこうした取り組みについてどのようにお考えかご意見をお聞かせください。

質問 福祉関係の仕事をしているので、災害時の高齢者、障害者等の救助について気になった。運営マニュアルを改訂したり、福祉避難所を開設するらしいが、どんな内容になるのか。

防災課長 運営マニュアルの改訂の一つとして、災害時の要援護者について地域たすけあい名簿を手挙げ式で作成し、警察、消防、防災区民組織等に事前に配布し、それにもとづき災害時、要援護者の様子を見に行くようにルールづくりを行う。また福祉避難所は、発災時、直ちに開設するのではなく、要援護者の避難所への避難状況を確認し、介護者の手配等、体制を整えた上で開設していく予定である。

質問 地域たすけあい名簿への登録窓口はどこか。

防災課長 区の福祉保健部になるので、お問い合わせいただきたい。

質問 震災時、避難所へ行くべきか、自分の家にとどまるべきかの判断をどうやったらいいのか。

防災課長 一戸建ての場合は、震災時、区の担当者やボランティアが、住めるかどうかの判断に伺うが、マンションの場合、正直に言って、そこまでなかなか手が回らない。マンションでは自主的に判断をいただきたい。通常、マンションは耐震性能が高いので、よほどのひび割れが起きたり、傾いたりしない限りは自宅にとどまっても大丈夫ではないかと思う。

質問 区の職員自身に向けたマニュアルはあるのか。

防災課長 持ち場への参集方法、各部署・各職員の役割分担等、震災時の対応だけではなく、管理者の宿泊待機、防災拠点運営委員会との連携（例；倉庫の鍵の受け渡し）等、日常の対応も視野に入れた防災マニュアルを整備している。

質問 防災情報の外国人向けの発信はどうなっているのか。

危機管理課長 中央FMで防災情報を流す際、英語でも放送している。

意見 ご説明を聞いて、区による公助だけではなく、各家庭における自助も大切だと思った。例えば各家庭で、防災チェックリストを作成し、日常より震災時への備えをすることが必要だと思う。

意見 高層マンション向けマニュアルだけではなく、一戸建て向けのマニュアルについても十分PRしてほしい。

意見 防災拠点運営委員会を中心に防災訓練をしているらしいが、全く情報がなく、参加したこともない。周知の仕方を検討願いたい。

意見 区内の企業や隣接区と連携して、防災訓練を行ってはどうか。

意見 周辺の人からも防災スピーカーの聞こえが悪いという話をよく聞くので、テストの頻度を上げて、改善に努めてほしい。

防災課長 防災スピーカー（防災行政無線）は、設置場所確保の問題もあり、区内の隅々までよく聞こえるようになるのは難しい。そこで防災スピーカーと連動している緊急告知ラジオを販売しているので、その利用も検討いただきたい。

意見 災害時のスマートフォン等を使っての情報提供には具体的に役立つものが欲しい。（例；道路の規制状況、火災場所、避難場所、トイレ等）

意見 東日本大震災ではツイッターによる連絡が効果を発揮したと聞く。防災拠点運営委員会の長レベルの方は高齢者が多いのだろうが、そういう方々もツイッター等が操作できるように日ごろから訓練していただきたい。

質問 大量に発生すると予想される帰宅困難者向けに、スマートフォン等の情報提供アプリを区は整備しているか。

広報課長 区ではツイッターを用意している。現在、試験とPRを兼ね、1日に1件はツイートしているのでご利用いただきたい。区としては震災時、どの情報提供ツールが使えるかわからないので、行政防災無線、緊急告知ラジオ等々、

さまざまな情報提供ツールを整備していきたいと考えている。

意見 日が暮れてから震災が起きたら、街灯もつかず、暗い中を避難せざるを得ない。それは危険なので、安全な避難ルートを示したマニュアルも欲しい。

防災課長 震災時には火災や建物倒壊が起きるかもしれず、事前に安全なルートを提示するのは難しい。そのため、区ではホームページでの情報提供や警察・消防と連携しての避難誘導をしていくので、震災時にはそれを参考にしていきたい。

意見 安全・安心ハンドブックの「はじめに」は、区民の自助・共助を強調した表現になっているが、これでは区が公助を軽視している、つまり区自身の義務や責任を軽くしているような誤解を与えるので、区も公助を決して軽んじているわけではないことを強調した表現にした方がいい。

防災課長 ご意見は真摯に受けとめたい。区も決して公助を軽視しているわけではなく、事実として、行政がなかなか動けない最初の3日間においては、自助や共助で助かった方が多いという意味で、そのような表現になった。

(2) 高層住宅防災対策について

中央区では超高層をはじめとするマンションが増え、集合住宅にお住いの世帯が88%に達しています。新しいマンションは一般的に耐震性が高く地震の際にも建物は安全といわれていますが、ライフラインやエレベーターの停止等により通常の生活が困難となります。「水・食料・簡易トイレ等の備蓄」「家具類転倒防止器具の設置」などの対策をとることで自宅での被災生活が可能となります。また、マンションの住民が協力して「安否確認」「物資の運搬」「負傷者の救護」などの活動を行うことが大切であります。このような活動が行えるように、それぞれのマンションに合った震災時の活動マニュアル作成の支援やマンション防災講習会の実施、防災アドバイザーの派遣などの事業を行っております。区のこうした取り組みについてどのようにお考えかご意見をお聞かせください。

意見 東日本大震災を契機に、マンション内で共助の意識が芽生えた。

意見 最近、マンション内で孤独死が起きた。それを見て震災時の対応に不安を覚えたとともに共助の必要性を感じた。

意見 まだまだ防災意識の薄いマンションも多いので、区から管理組合の会合に来て、防災訓練等の日ごろの備えの重要性を訴えてもらいたい。

意見 独自に防災マニュアルを作成しているマンションを公表して、そこを参考に各マンションで防災マニュアルづくりの動きが広がればいいと思う。

防災課長 最近では、地域（町会）とマンション管理組合が連携して防災訓練を実施する例もある。区としても、そのような事例を紹介しつつ、マンションと地

域のコミュニティづくりをお手伝いしたい。防災を1つのキーワードに、地域づくりを進めていただければと思う。

意見 水害(津波)対策として、震災時にはマンションのオートロックを開放して、近隣の一戸建てや低層住宅に住む方々の避難受け入れ先にしたらどうか。

意見 今の想定では津波発生時には区役所や駐車場等に避難するようになっているが、高齢者が遠くのそこまで行くのは難しい。やはり近所のマンションの一部を避難場所として開放していただきたい。

意見 中央区まちづくり基本条例では、マンション建設も含め、新規に再開発をする際、何か地域に役立つ協力や施設を設置するように求められている。実際、私の住むマンションでは、震災時、帰宅困難者の受け入れや簡易トイレを設置することになっている。こういうすばらしい条例の精神を、津波対策として、既存マンションにも反映させることはできないのかなと思う。

防災課長 現状では、区とマンションが協定を結び、津波からの避難場所とすることは難しい。なぜなら、マンションの中には、資産維持管理上の問題や住民の方々の不安等を理由に避難場所となることを嫌うところもあるから。また今の想定では、津波が来襲するまでには時間の余裕があるので、やはり区の施設等に避難いただきたい。

意見 マンションではなくても、高層ビルに入っている企業と協定して、津波対策として、本当に一時的な避難場所として開放することはできないか。帰宅困難者向けに一時的に開放するビルもあると聞くので、可能ではないかと思うが。

意見 津波対策として、防災拠点(学校)の備蓄倉庫や発電機を1階や地下から2階より上に移設することを考えておくべきだ。

防災課長 今後、学校の改築の際には、その点もよく考え対応していきたい。

意見 古いマンションの耐震性が十分かどうか、よくよく調査いただきたい。もし崩壊することがあれば、道路がふさがるとして、避難所へも行けなくなることも想定される。

事例検討2「防犯対策について(安全・安心への取組について)」

区では、安全・安心なまちづくりを推進するため、平成16年に「中央区安全で安心なまちづくりの推進に関する条例」を制定し、区民の防犯意識の向上や自主的な生活安全活動への支援など、安全な地域社会を維持・形成するための環境整備に取り組んでいます。その事業の一つとして、平成21年度から個人のご家庭に防犯アドバイザーを派遣し、玄関錠や窓ガラスなど住宅設備に関する防犯対策の助言・提案を行うとともに、この提案に基づき防犯設備を設置した場合に、1万円を限度にかかった費用の2分の1を助成しております。この事業の周知については、区のおしらせ、ホームページ、窓口でのチラシ配付などにより行っておりますが、過去の助成実績を見ると、平成23

年度が26件、平成24年度が5件、今年度が10月末現在で1件となっており、利用が進んでいない状況です。区のこうした取組についてご意見等をお聞かせください。

意見 中央区の体感治安は確かにいい。

質問 よく治安のいい国として例に挙がるモナコ公国は、その理由の一つとして、人口に対する警察官の多さが言われるが、中央区内の警察官数はどの程度か。

危機管理課長 具体的な数字は把握していないが、狭い地域に4警察署があるので、他区に比べて警察官数は多いと思われる。

意見 最近、ごみやたばこの吸殻の捨てられ方を見ると、今後の治安が不安だ。

質問 区内に暴力団事務所はあるのか。

危機管理課長 暴力団事務所の有無については警察が把握している。暴力団員も何名か区内に在住していると聞く。

意見 最近、堀留や人形町一帯での客引行為が目につく。中には、しつこいものもあるので、強力に取り締まっていただきたい。

危機管理課長 人形町一帯の客引行為の悪化は警察も認識していて、防犯協会とともにパトロールを強化しているところである。

意見 鍵の交換等の助成金が1万円を上限に費用の2分の1というのは、あまりにも少ない。だから、利用件数も少ないのだと思う。増額を検討いただきたい。

危機管理課長 助成金の申請例を見ると、鍵の交換費用で1万数千円のものも多く、助成金1万円で足りるかなと思っているところである。

意見 商店街だけではなく、路地も対象に防犯カメラの設置を積極的にお願したい。路地にはまだまだ死角となる場所が多い。

意見 娘がストーカー被害に遭ったりして、区の治安状況には不安を覚える。防犯カメラの増設など、もっと対策をしていただきたい。

危機管理課長 防犯カメラ設置費用の助成制度をもっとPRしつつ、効果的な設置を促進したい。

意見 花見の時期、隅田川周辺のごみ投棄や騒音の取り締まりの徹底を願いたい。

意見 コンピューターに関する犯罪被害相談窓口は、今、電話番号しか記載されていないが、詳しく状況を説明するためにもメールアドレスも記載してほしい。

意見 振り込め詐欺被害がまだまだ多いので、区報等に具体的な事例紹介を載せたらいいのではないか。

— 了 —